

令和8年9月定例会

建設環境常任委員会 説明資料 （PDCAサイクルの事業進捗報告）

駅前広場施設改修事業

建設構想部

建設環境常任委員会 PDCAサイクルの事業進捗報告について

対象事業名：駅前広場施設改修事業

※全体の進め方

■常任委員会への報告フロー

・9月定例会 事業概要の説明及び令和8年度事業進捗の報告



・12月定例会 令和8年度 事業進捗の報告



・3月定例会 令和8年度 事業進捗の報告



令和9年

・6月定例会 令和8年度末 事業進捗の報告

■9月定例会 説明骨子

令和8年度の事業進捗

- ・令和8年度 事業概要の説明
- ・令和8年度 事業進捗の報告

■郡山駅周辺110ha 駅まちデザイン基本構想

令和8年9月定例会
常任委員会資料（PDCA）
（建設構想部）



郡山駅周辺 110ha 基本計画の策定

東口の戦略的開発と
東西連携の強化の構想・計画

西口ロータリー実施設計
②タクシー専用プール

西口ロータリー実施設計
①一般車降車スペース

西口ロータリー実施設計
①一般車乗車待ちスペース

パデストリアンデッキ延長、歩道整備による歩行者
の回遊性向上に係る基本計画

賑わい広場基本計画

賑わい広場基本計画
①郡山駅西口駅前広場のリニューアル

デジタルサイネージ基本計画

バスステーション基本設計

交差点詳細設計

郡山駅西口駅前広場

JR郡山駅

<現行>都市計画決定区域
：郡山駅東口駅前広場

郡山駅東口駅前広場

郡山駅東西連絡自由通路

※これらはイメージを示したものであり、今後詳細な検討及び関係者との調整を開始します。

■基本構想で示された グランドデザイン実現に向けた具体案

1. 駅前広場の未来像

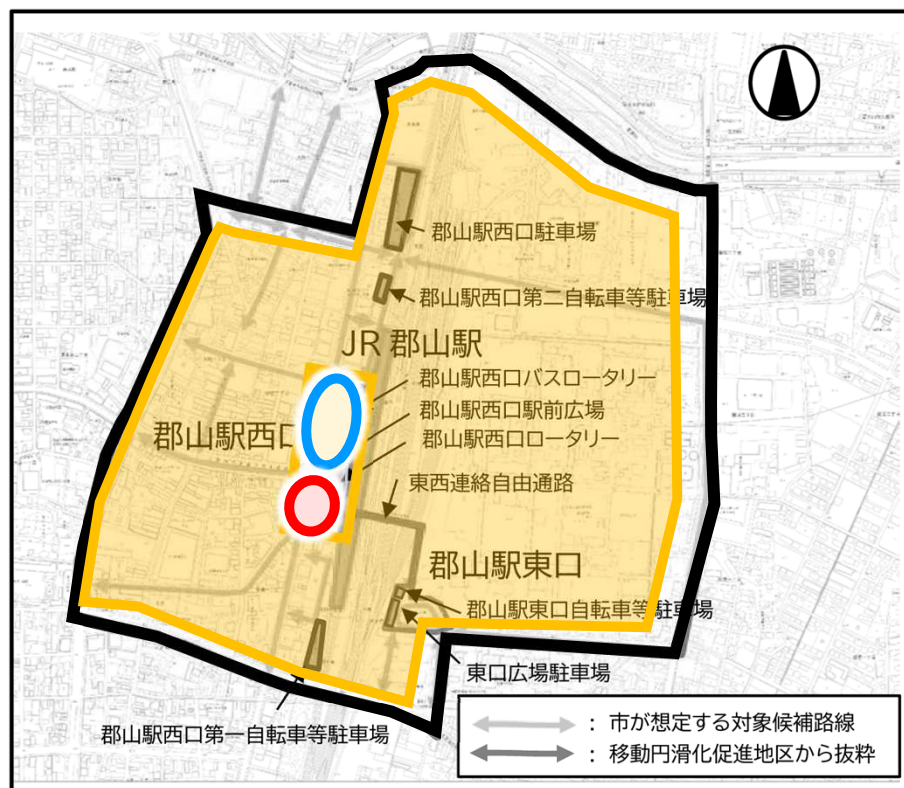
＝駅まちデザインのビジョン（令和7年度 基本構想より）

POINT

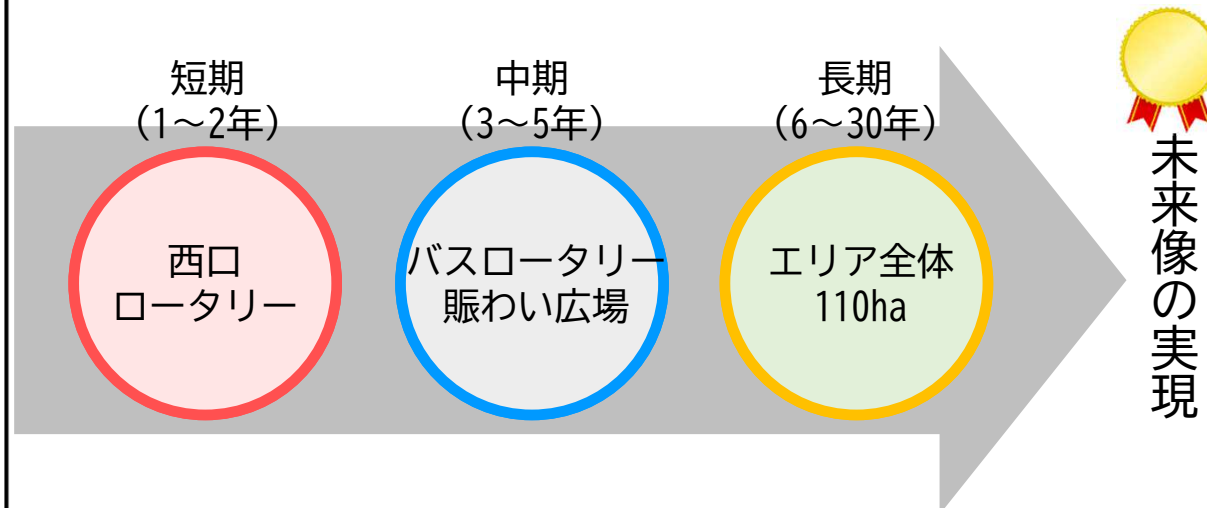
未来像の実現に向けた時間軸の視点

- 将来都市像「東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち郡山」の実現
- 郡山駅前周辺の渋滞緩和と若者や観光客で賑わう、魅力ある多様な空間を創出

2. 駅まち空間エリア展開のロードマップ



図：駅まち空間全体図（110ha）



■郡山駅西口駅前広場の未来像

1. 駅前広場の未来像

＝駅まちデザインのビジョン（令和7年度 基本構想より）

POINT

未来像の明確化

- 将来都市像「東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち郡山」の実現
- 郡山駅前周辺の渋滞緩和と若者や観光客で賑わう、魅力ある多様な空間を創出

2. 未来像を実現するためのエリアごとの方針



図：現在の郡山駅西口駅前広場（出典：Googleマップ）

郡山駅西口駅前広場の未来像

1. 賑わい広場

広場の全体像

現状

- 音楽ライブや観光物産展、イルミネーションなど、**様々な催し物に利用**されている。
- 郡山市郡山駅西口駅前広場条例により、車両の乗入れ禁止などの**一定の制約がある**。
- 座って滞在できる場所がほとんどない**。
- 令和7年度調査の**アンケート結果では**、郡山駅前広場の不満な点として以下に回答が集まった。
「通過するだけの場所」「滞在しにくい」「**賑わいや活気が少ない**」「**座る場所が少ない**」「夜間が暗くて不安」

主な課題

- 駅前広場というポテンシャルを活かした、継続的な**賑わい創出の場の提供**
- 交流の活性化に資する、**快適な滞在空間の提供**
- 利用目的や利用者の属性等、多様な使われ方に対応できる**付帯施設の整備**
- 通勤・通学等の**日常利用の快適性**にも対応できる空間の創出
- 色彩等にも配慮した、**広場全体の一体性や連続性の確保**

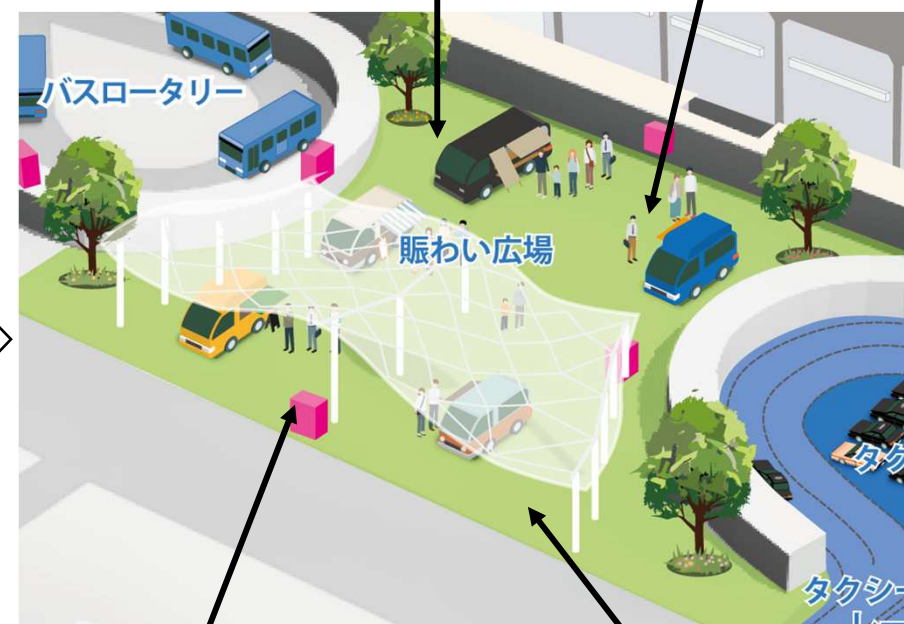
POINT

基本構想を踏まえたリニューアル

整備の基本方針（案）

多様なイベント需要（キッチンカー等）にも対応できる空間へのリニューアル

歩行者の流れを妨げない滞在エリア（ベンチ等）の配置



図：賑わい広場のグランドデザイン
（出典：「郡山駅周辺地区 駅まちデザイン基本構想」）

駅舎、バスロータリー、西口広場、中心市街地等との連続性に配慮した空間整備

電源や水道等の確保

郡山駅西口駅前広場の未来像

2. バスロータリー

バスステーションの基本設計に向けた方針

現状

- 乗車待ちスペースが不足しており、時間帯によっては**既存案内所を囲うような待機列**ができてしまう。
- バス待合所が存在せず、**屋外での待機**が必要となる。
- バスの運行状況、災害、イベント等の一元的な**情報発信力が不足**している。
- 交通系電子マネー決済が導入されたものの、デジタル技術を活かした**案内環境が整備されていない**。

主な課題

- 待機列の発生を抑制**する待合空間の確保
- 酷暑や降雨などの悪天候時でも**快適に待機できる屋内空間**の確保
- 各種情報等を**ワンストップ**（ひとつの場所・窓口）や**多言語で発信できる環境**の整備
- 災害時にも機能する**情報・待機・給電環境**の整備

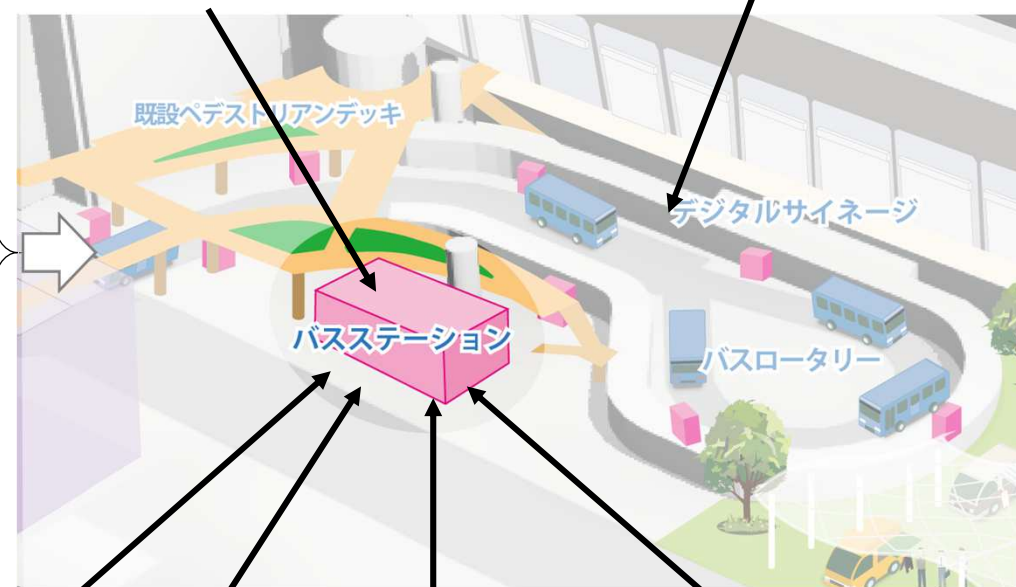
POINT

快適な待合施設の整備

整備の基本方針（案）

各種情報をワンストップで提供するデジタル情報発信拠点の構築

乗り場周辺の混雑や動線の錯綜を解消



図：賑わい広場のグランドデザイン
（出典：「郡山駅周辺地区 駅まちデザイン基本構想」）

災害時にも
対応できる機能の確保

既存案内所の
移転と機能の
継続確保

快適性と環境配慮を
両立した計画の検討

悪天候時でも快適に
利用できる屋内待合
スペースの新設

■基本構想で示された グランドデザイン実現に向けた対策案

長期：郡山駅西口駅前広場のペデストリアンデッキ延長
歩道整備による歩行者の回遊性向上

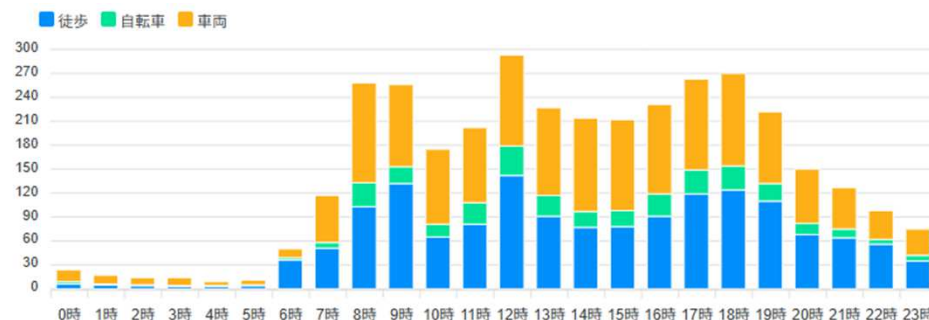
現状・課題

西口ペデストリアンデッキは北側の一部にのみ整備
南側方向など、交通量の多い道路の横断が必要な箇所も多い

具体案

人流計測・分析サービスを利用しながら
駅西側、南側方向を中心に
ペデストリアンデッキ、歩道整備の箇所、必要な幅員等を検討

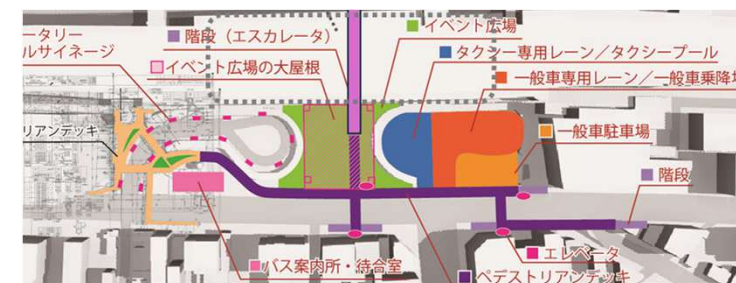
ペデストリアンデッキ延伸により、
歩行者にとって歩きやすい郡山駅前を整備する計画を策定する



図：人流分析サービスで表示したグラフ（フロンティア通りの平日通行量）
出典：Agoop社 人流データ

POINT

最新技術を利用した
地域活性化への提案



図：駅まちデザイン基本構想



図：人流移動軌跡データの作成例（京都市）
出典：Agoop社 人流データ

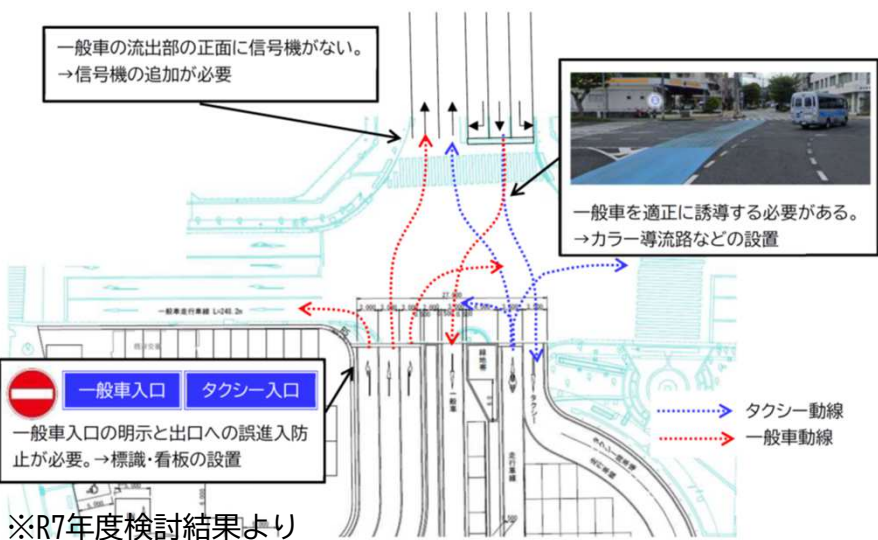
■基本構想で示された グランドデザイン実現に向けた対策案

○交差点詳細設計

POINT

安全性の確保

最重要となる安全性確保や施工性に関する検討が必要であるため、交差点詳細設計は以下の方針で実施します。

①安全性の確保	これまでと異なる交通運用となることから、交差点への誤進入や交通錯綜が懸念される。  一般車の流出部の正面に信号機がない。 →信号機の追加が必要 一般車を適正に誘導する必要がある。 →カラー導流路などの設置 一般車入口 タクシー入口 一般車入口の明示と出口への誤進入防止が必要。→標識・看板の設置 ※R7年度検討結果より	 運転者視点のCGを作成し、標識や路面標示の見やすさを確認する。 
②駅前広場の施工と合致した施工計画	駅前広場の施工ステップに合わせた交差点整備が必要である。	施工ステップは、駅前広場に合わせた検討する。

表：懸念事項と設計方針

■基本構想で示された グランドデザイン実現に向けた対策案

○駅前広場実施設計における留意点

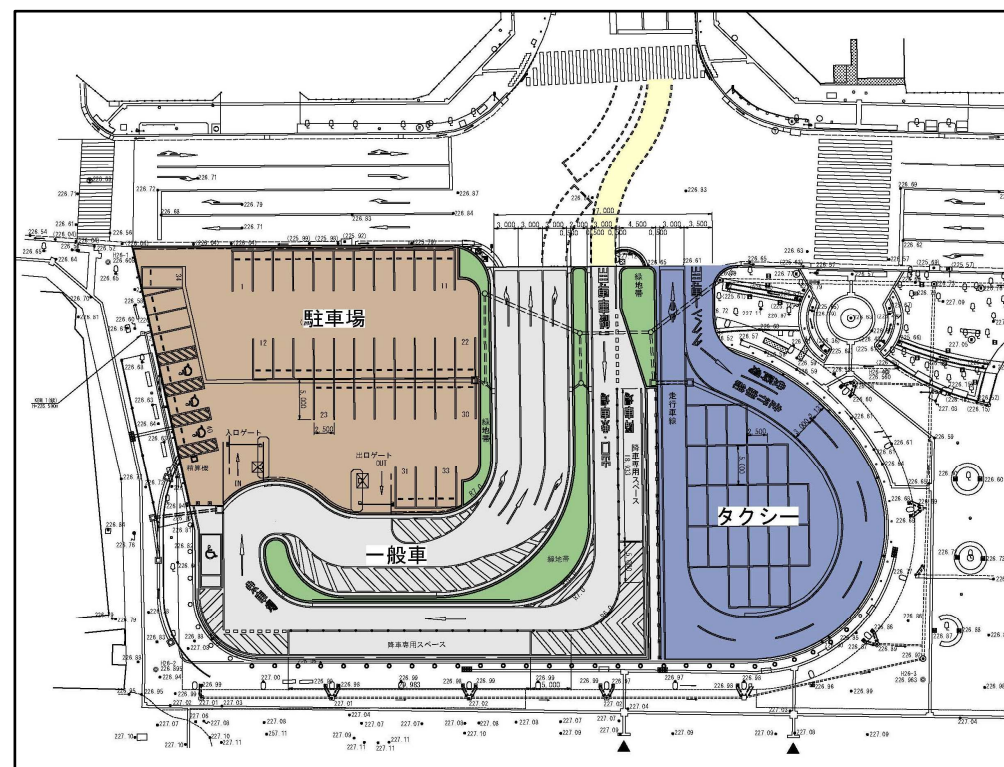
POINT

安全性と利便性の確保

- ◆駅前広場の**安全性と利便性を確保**した工事中の供用を目指します。
- ◆新しい駅前広場の**早期発現**のための措置を実行します。

【実施設計における留意点】

- ① 実施設計上の工夫
- ② 工事の段階施工の検討
- ③ 交番の移転時期に左右されない柔軟な施工ステップ
- ④ 関係機関協議のポイント
- ⑤ 施設設計のポイント
- ⑥ 設備・システム設計のポイント



図：計画平面図

出典：郡山駅駅前広場基本計画策定等業務委託

基本構想で示された グランドデザイン実現に向けた対策案

1. 駅前広場実施設計における留意点

（１） 設備・システム設計のポイント

（１）-1 防犯カメラ

- ・ロータリー内の既存施設を更新し、**防犯カメラのネットワーク**を検討します。

（１）-2 駐車場システム

- ・完成形（40台規模）を見据え、不正駐車抑制と送迎ピーク時の広場内渋滞の回避を両立するシステムを検討します。
- ・単一のシステム選定にとどまらず、各仕様の長所を融合させた組み合わせにより、**適正な維持管理を含めた運用案**を検討します。

POINT

効率性・利便性・安全性

検討項目	検討内容
経 済 性	40台運用における初期投資（イニシャル）と維持費（ランニング）の費用対効果
維持管理性	40台分の機器保守、経年劣化対応、トラブル時の管理効率
利 便 性	ピーク時の入場渋滞防止と、歩行者のバリアフリー（つまづき防止）

表：駐車場システム検討項目例



① 車番式チケットレス式

- ・カメラのナンバー読取による、駐車券なしのノンストップ管理システムです。
- ・一時停止不要で渋滞緩和に大きく寄与し、路面に突起物がないためバリアフリー面でも優秀です。ただし導入・維持費用が高価なため、費用対効果の検証が必要です。



② ゲート式

- ・出入口のゲートと駐車券による確実な管理システムです。
- ・ピーク時の入場待ちによる広場内渋滞リスクがありますが、十分な待機車数を確保する「ゲート設置位置の工夫」により回避可能です。



③ フラップ式

- ・車室ごとのフラップ昇降と精算機による管理システムです。
- ・不正駐車抑制効果は高い一方、40台分は保守コストが嵩みます。また、歩行者が多い駅前広場ではバリアフリー面（つまづき等）に大きな課題があります。

表：一般的な駐車場システムの例

■基本構想で示された グランドデザイン実現に向けた対策案

1. 測量

- ・西口ロータリー実施設計、交差点詳細設計、駅前広場改修及び周辺整備の基本計画・基本設計、支障物件移転に必要なとなる測量を実施しています。
- ・調査箇所は、**一般車両・歩行者が交錯する交通量が多い地区**のため以下に留意して作業を実施しています。
 - 👉関係機関及び周辺住民への周知徹底を図り、安全管理に万全を期す
 - 👉交通管理者・道路管理者・鉄道事業者と協議し、必要な手続きを行う
 - 👉朝夕の混雑時間帯の作業を避ける

2. 補償調査

- ・西口ロータリー改修整備にあたり、支障物件移転に必要な物件調査・補償費積算を実施しています。
- ・**令和8年9月18日までの補償額報告**であること等から、以下に留意して作業を実施します。
 - 👉調査日程調整、調査・積算作業を効率的に行います
 - 👉実現可能な移転先・移転スケジュールを踏まえ補償費を算定します。

POINT

効率性・安全性



工種・名称・細目・規格	単位	数量	摘要
測量			
作業計画／現地踏査	式	1	
基準点測量／水準測量	式	1	4級：17点
現況測量	ha	3.24	
路線測量	km	0.74	停車場線，西口広場等
用地測量	式	1	予定地：100m ²
補償調査			
	式	1	

表：測量および補償調査 業務数量表

■基本構想で示された グランドデザイン実現に向けた対策案

3. 地質調査

（１）近隣の既存データ確認

- ・近隣の既存データは、郡山駅西口ロータリーの標識設置計画位置の約200m北側に存在します。
- ・既存地質推定断面図では、南側ほど粘性土が厚く分布し、ボーリング地点で地質が異なっています。

（２）標識設置等に伴う地質調査・解析業務の提案

- ・標識詳細設計の基礎資料とするために、地質調査を提案します。
- ・地質調査にあたっては、地下埋設物の確認や、道路使用許可申請等、必要な手続きを行った後に現地調査に着手します。
- ・地質調査の項目および提案数量を、一覧表に示します。

工種・名称・細目・規格	単位	数量
一般地質調査		
機械ボーリング	式	1
粘性土・シルト	m	5.0
砂質土	m	5.0
礫混じり土砂	m	5.0
標準貫入試験	式	1
解析等調査業務	式	1

表：地質調査および解析等調査業務の提案数量表

POINT

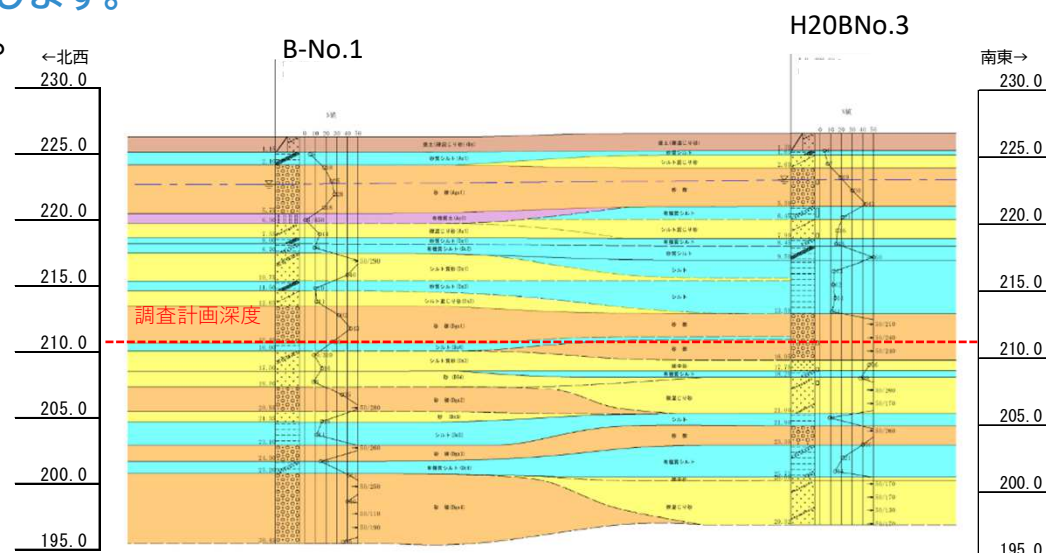
効率性・安全性



図：調査位置平面図

地質推定断面図凡例

Bs	: 盛土
o	: 有機質土
c	: 粘性土
s	: 砂質土
gs	: 礫質土



図：既存地質推定断面図